



Regenerative
Medicine
Japan 2023

healthTECH
JAPAN 2023

Oct. 11 (Wed.) - 13 (Fri.), 2023

PACIFICO Yokohama, Japan



出展者プレゼンテーション「AIとヘルステック&エンジニアリング」 hTJステージ
 バイオエンジニアリング研究会×ヘルスケア研究会×創薬モダリティ基盤研究会 協同企画

会期：2023年10月11日（水） 15:00～16:40
場所：パシフィコ横浜 A,B,C,Dホール hTJステージ



BioJapan



Life Scienceにおけるデータ解析の重要性と複雑さは益々増え続けているが、様々な要素が複雑に絡み合うバイオロジーと疾患の理解にAIの力を用いることで、最短で課題解決に導くことができると期待される。本セッションでは、AIを用いて各々のミッションに挑戦する事例を中心に、AIとヘルステック&エンジニアリングの将来展望についてお示ししたい。

15:00-15:10 AI病理解析によるがん免疫微小環境の理解
 小西哲平 ((株)biomy 代表取締役社長)

15:10-15:20 AIが切り開く抗体創薬の未来 玉木 聡志 ((株)MOLCURE Chief Science Officer)

15:20-15:30 ICH Q5A (R2) に対応したNext Generation Sequencing (NGS)を用いたバイオプロダクトのウイルス安全性管理 緒方 法親 ((株)日本バイオデータ 代表取締役、大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻、招へい教授 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合、顧問 (ゲノム技術))

15:30-15:40 再生医療への取り組みとAIを活用した細胞評価技術の紹介
 阿部 公揮 (清水建設(株) 技術研究所 主任研究員)

15:40-15:50 ヘルスケアにおけるパッチ式脳波計と脳波AIの活用の可能性
 松原 秀樹 (PGV(株) 代表取締役社長)

15:50-16:00 “希少疾患” x “リパーパシング創薬” = 製薬業界のサーキュラー・エコノミー実現への挑戦
 平嶋 伸章 ((株)ジェクスヴアル 取締役 チーフビジネスオフィサー)

16:00-16:10 高度専門スキルを有するコンサルタントがAIに挑む
 廣瀬 正明 (ネクスレッジ(株) 国際事業部 部長)

16:10-16:20 細胞形態情報に基づくAI駆動型ラベルフリーセルソーティング技術の実用化
 水谷 未来 (シンクサイト(株) 事業開発部 ディレクター)

16:20-16:30 SARS-CoV-2の変異株解析を可能にしたゲノミクス技術～ダイナモ人財の生き方 (仮題)
 松田 朋子 ((株)日本バイオデータ Senior Principal Scientist、大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻 招へい研究員 バイオエンジニアリング領域若手ダイナモ人財小委員会副リーダー)

16:30-16:40 あらゆるデータを解析するHACARUS AIプラットフォームのご紹介
 「創薬からバイオ、製造、SaMD、治験、ヘルスケアまで」
 龍野 望 ((株)HACARUS プラットフォーム事業部長)